



第636号
 発行人 ● 豊丘村公民館
 唐澤克己
 編集人 ● 長野県下伊那郡
 豊丘村公民館
 編集委員会
 0265-35-9066
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村
 (2月1日現在 ※外国人を含む)
 男 3,424人
 女 3,531人
 総人口 6,955人
 世帯数 2,055戸

「丈夫に育って無事に南の島へ」

滝川春満さんの大賞受賞作「ツバメ」



必死に生きるツバメの親子に感動

—— 滝川春満さん、三科会公募展で大賞受賞

豊かな心を育むために

北小が「子どもの読書活動優秀実践校」に

本がますます
身近な存在に

豊丘北小学校
教頭 湯澤弘典

昨年十二月一日に茅野市で、二科会写真部長野支部の公募展表彰式が行なわれました。四二二点の応募作品の中で、河野の滝川春満さんの「ツバメ」が、最高賞の長野支部大賞に輝きました。受賞作品は、今年生まれた子ツバメたちを必死に育てる親ツバメの姿が、見事に捉えられております。無邪気に餌をせがむ四羽の子ツバメと、家族のあり方のみでなく、私たちがこの世に生きていく意義や尊ささえも見えてきます。

これからも
楽しみながら

市ノ沢
滝川春満

昨年三〇年の歴史がある二科会写真部長野支部に入会し、続いて行われた第十九回公募展に初めて応募したところ、四〇〇点を超える応募作品の中から私の「ツバメ」が大賞に選ばれました。十二月一日に表彰式が行

ロク等もやっています。人目につく場所は、勤務先、行きつけの理髪店と母の入所している介護施設に飾らせていただいているのみです。表彰式後の懇親会では、多くの会員の方から声をかけていただき、一位になった実感が湧いてきました。「連判出来るよう頑張る」とコメントしたので、なんとかしなければと思います。カメラの技術は進歩しても、野鳥撮影の基本は①鳥の居るところに行く②鳥を見つめる③ファインダーに

これからの他人に迷惑をかけるような、マナーを守って、楽しみながらの撮影を心がけたいと思います。



和やかな雰囲気の中で充実した授業が展開されます—北小学校

読書離れが心配されて久しくなります。日進月歩の時代とはいえ、今でも読書には様々な効用があり、私たちが豊かな人生を送っていくには、書物はなくてはならない存在です。パソコンやスマートフォンなど、次々と新しい機器に囲まれて一生を送る若い人々には、今一度読書の大切さを認識してほしいと思います。この点で、県より「読書活動優秀実践校」に推薦された北小学校の意欲的な読書指導は大変参考になります。

このような実践が認められ、今回「子どもの読書活動優秀実践校」に県から推薦されました。これも、誕生日本など、読書を大切にする豊丘村の皆様との連携のおかげと感謝しています。今後、今回の成果を活かし、本好きな児童が多くなるように、さらに取り組みの工夫をしていきたいと思います。

今年も選抜高校野球の出場校が決まり、開幕が今から楽しみです。高校球児の投手といえば一番すごい投手は作新学院の江川ではなかったのか。とにかく球が速かった。その当時はスビードガンがないのではつきりしたことはわからないが、一六〇キロ近く出ていたのではないかと聞かれる。バッテリーの手元でぐっと加速する剛速球で、当時の高校生ではバットに当たるのがやっという状態だった。しかしそれほど投手でも甲子園で優勝できなかった。選抜の準決勝で、広島商業の徹底した単打打法と足を絡めた攻撃の前に一対二で敗れた。彼はその後すくプロに入らないうちに、浪人の五年間を経て、有名な「空白の一日」で巨人に入団した。巨人では肩を壊し、通算一三五勝で終わった。もしすくプロ入りしていたら、何勝していたか気になりますが、週刊ポストにそのシミュレーションが載っていた。勝利数は二七六勝で鉄腕稲尾と並ぶ歴代八位、奪三振も二七五回と同じく歴代八位、十分全試合への入会資格のある大投手となっていたと予測されている。彼が大活躍の末入団した是非について論ずるつもりはない。ただ、これだけの大投手の全盛期があまりに短く、怪物と言われた期間が短いもので終わってしまったことが残念でならない。

しめやかに別れの歌流れ

— 現福祉センターでの最後の公民館学習会

二月七日に福祉センターで、二〇名の会員が参加し、今年度最後の公民館学習会が開催されました。長野県童謡唱歌を歌う会会長の清水正則先生、飯田市在住をお招きし、「春に関する別れと出会いの歌」の歌唱指導が行なわれました。来年度には新しい公民館が完成するため、今の福祉センターでの学習会は、これが最後となります。

清水先生には、この学習会に、「二〇数年、講師としてご指導いただいております。今回の学習会に関連し、歌唱の魅力や、この学習会に対する感想を寄せさせていただきます。

「うた」を通じた学びの出会い

長野県童謡唱歌を歌う会
会長 清水正則

私は、学校を退職してから十三年目を迎えた。この間、「音楽」にかかわって多くの幼保・小・中・短大や各地域の公民館・施設等を何度も訪問してきている。

また、飯伊童謡・唱歌をうたう会員と共に、保・小・短大を訪問して、「うた」による交流会も行なっている。それは、世代を越えて一緒に歌う楽しさや、感動体験を共感し、今の子どもたちに、童謡・唱歌を愛好する心が育つきつかけとなれば、と思いつけてきている。

豊丘村公民館学習会には毎年呼んでくださり、感謝



情感豊かなメロディに清水先生的美声が加わり

章平先生の

出会い、こぼれ話 ④

― 落下傘げんこつ ―

毛 涯 章 平

私は現職中、一貫して厳しく指導しようと思っ掛けたことは、次の三点だった。
○他人に迷惑をかけたとき
○みんなで決めた約束を守らないとき
○友だちをばかにしたり、いじめたとき
だから、このどれかに当たる時は、本気で叱った。ときにはげんこつをその子の頭にかざした。

ところが、ある時落下傘が開かないことがあった。それは、四年生の秋の遠足の日のことであった。目的地の山の峰で遊んだ後、昼食というとき、数人の女の子が顔色をかえて訴えてきた。水筒の水がほとんど無くなっているというのだ。

「いいか。今日は落下傘が開かないぞ。この味をしっかり覚えておくれ」と、一人一人にげんこつをくれた。五人は悲しそうに泣いた。見ていた女の子たちも泣いた。
そして私も――
卒業後ある年の同級会に立派に成人した彼等が、「あの時は落下傘が開かなかった。その時先生は、わけを話してくれた。だから一生忘れられない。有り難かった」と話すのを聞いて、私はもう嬉しいやら恥ずかしいやら胸が詰まってきました。

史学会コーナー

郷土の遺産 シリーズ (39)

長秀明神とその由緒顕彰の碑

上垣外

武田 芳彦

堀越に於ける石造文化財としてあげてみたいものは何点か有るが、昔の謂れや物語として先ず一番に載せたいものに、由緒顕彰の碑としてある長谷川宗右衛門を祀つてある長秀明神がある。

この長谷川宗右衛門は、嘉永安政の頃、京都、信州、江戸、水戸等の間を東奔西走、勤王佐幕の間を周旋した。吉田松陰が東陽屋の獄裡について記録した留魂

録の中に、小林民部、橋本左内、日下部伊三次、長谷川宗右衛門、同連水等、数多くの同志があり、多くは水戸密勅の一件から安政の大獄に連座した人といわれる。

宗右衛門は三度投獄され、三度も朝廷の命により出獄された。安政三年と五年、幕府の詮察が厳しくして片桐長九郎をたどつて入信、田村洞岩寺に隠れた。後に父子共、堀越の河野新左衛門の家に隠れた。その間、同志三十余名が出来、真に同

志を得たり」と喜んだと言う。また、阿島御一条騒動が勃発した際に公儀により水戸家に周旋をなし、河野田村、阿島、南原の百性側の勝訴となった。

享年六十八歳、没後堀越、河野、田村等恩恵を受けた人等に依つて、高松より歯とカミの毛をゆすり受け、河野家の上山に葬り祭祀した。

その後百年忌を迎え、昭和四十四年十一月三十日社和四十四年十一月三十日社祠を新設祭祀した。

後に史学会に依りお社の改築記念碑建立の話が纏まり、昭和五十九年春、社祠が新しくなり記念碑が完成した。当時の建立委員に武田寛、日下部勝次、田島吉計、宮下音蔵、武田修、河野通俊、宗右衛門の石碑撰

以上のが宗右衛門の人物と建立碑の内容である。村内の有志を集め、平成六年に四国高松の宗右衛門の墓参り、資料館等の視察を行い、その後高松より教育委員の方々が来村され、伺ものにも動

併書は、武田彦左工門。参道入口、石標柱は河野通俊寄付。石工菅沼石材、神主堀本許良。

以上が宗右衛門の人物と建立碑の内容である。村内の有志を集め、平成六年に四国高松の宗右衛門の墓参り、資料館等の視察を行い、その後高松より教育委員の方々が来村され、伺ものにも動

併書は、武田彦左工門。参道入口、石標柱は河野通俊寄付。石工菅沼石材、神主堀本許良。



長谷川宗右衛門の石碑と社祠

写真提供：武田 務氏

縄文中期の土器発掘

河野の村宮住宅予定地で

松川町資料館
酒井 幸則

豊丘村が河野地蔵道地籍に住宅団地を建設するため、地域内に所在する三島遺跡の発掘調査が行なわれています。建設工事によって地下に埋もれている貴重な文化財が破壊されるおそれがあるため、教育委員会では、昨年の試掘調査に続き、十一月の中旬より調査団を編成して発掘調査を実施しています。

この地が古くから人々の生活に適した土地であったことを示し、古墳時代の集落は、村を代表する大宮古墳群の被葬者とのかわりや、古墳を構築せしめた



貴重な文化財がほぼ完全な形で

遊びの中で生きる力が

南・北保育所で丸山教授が公開保育

四季大学冬季講座が、一月二十日と三十一日に、南北の両保育所で開催されました。今回も昨年と同じく、常任講師である東京理科大学教授の丸山克俊先生による公開保育が実施されました。丸山先生の情熱あふれる実践的な指導に、園児たちもすぐに引き込まれ、楽しく遊ぶ中で、集団生活におけるルールや協力することの必要性等を体感していただきました。公開保育を通じ、変化の激しい不透明な時代をたくましく生きていくうえで、幼児教育の大切さが改めて認識されました。

真冬の熱い二日間

保育所長
北原理恵

去る一月三十、三十一日の二日間に渡り、ふるさと大使の丸山克俊先生に南北保育所で「体育あそび」を、年長年中児を対象に行なっていたいただきました。年中児はフライパンマツトくみんで何を作るのか」と題して、マツトを使い、卵になった気持ちで表現したり、丸山先生の遊園地でスリルを味わいながら、楽しく体を動かしました。年長児は「やまんばこわいぞ、

先生が福島県で毎年行なっているおられる親子体育あそびの実践から、自己思考・自己選択・自己実現できる土間をありがたうございました。



丸山先生の情熱が子どもに通じ

との大切さを教えていただきました。心の基地は日常的な親子のふれあいあそびでつくられるという事で、来年度は保育所行事として、三歳以上児の全親子を対象とした「親子デイズ」シリーズを企画しております。皆さんお楽しみに！

丸山先生の溢れる情熱に少々圧倒され、丸山やまんに追いかけられたら夢でうなされるほど本気で怖いだろうに、子どもたちの勇気にただただ感心しました。丸山先生、真冬の熱い二日間をありがたうございました。

美侑さんの作文は、自分のできることを地道に誠実にこなすという、それが家族に喜びを与え、そのことが結局は自身の生きる意欲や幸福感に通じていくことを示唆しており、心を打たれました。幸せな家庭や充実した人生は、何気ない善意ややさやかな思いやりによって成り立っていることが実感できます。

六つのお笑い

南小五年
唐沢美侑

私の家には、六つのお笑いがあります。その六つのお笑いを紹介します。

一つ目の笑顔は、私がテストで〇〇点を取ると「笑顔をくれます。お父さんの笑顔」です。その時は、うれしい気持ちになります。

二つ目の笑顔は、私が手作りのおやつを上手くできたら、「笑顔をくれます。お母さんの笑顔」です。その時は、また作りたいたいと思います。

三つ目の笑顔は、私が畑の手伝いをすると、「笑顔をくれます。おじいさんの笑顔」です。その時は、また明日もやっと思つてあげようと思つています。

四つ目の笑顔は、私が花の水やりをすると、「笑顔をくれます。おばあちゃんのお笑い」です。その時は、一つ良いことをしたなと思つています。

五つ目の笑顔は、私が本や遊ぶものを貸してあげると、「笑顔をくれます。妹のお笑い」です。その時は、貸してあげれば、よろこぶから、また貸してあげようと思つています。

六つ目の笑顔は、私の笑顔です。五人全員が笑顔になると、「私も、もつといふ笑顔を返したいな」と、とても強く思っています。これからも、笑顔を絶やさず、生活していきたいと感じています。

2月8日 村にも大雪

雪掻き奮闘記

木門
唐澤克己

二月八日、急速に発達した低気圧の影響で、飯田下伊那地方は、全域で大雪になりました。いたるところで交通に支障が出て、大変な状態でした。豊丘村も例外ではなく、一日中雪に悩まされました。



一面の雪景色一河野地区

もりすぎて缶詰状態になってしまいました。そこで、午前中から、ひたすら雪を掻き続けました。家の周辺を一通り掻き終ると、最初に掻き終えたところが、もう既にしっかりと積もっています。疲れたといつて、少しでも休憩していると、積もすぎて処理が大変になりました。

家族の笑顔も絶やさず

「社会を明るくする運動」作文より



色彩豊かな見事な絵はがきです

この絵は、どこか物憂げな顔の夢二式美人」とは異なりですが、少女向けに描いた浮世絵風の美人画といえるのではないのでしょうか。

わたしは、本が大好きです。絵本も好きですが、このころは、小説も多く読んでいます。わたしが好きなのは、犬がでてくる小説です。わたしは読んで犬の小説は、「ハチ公物語」「犬たちの物語」「きなき」など、お「犬とわたしの十のやく

感動させてくれたりします。わたしは、さいきん豊丘村図書館へ行くことが多いです。豊丘村図書館にはたくさん本のがあります。お料理の本があったり、図かんや、おりがみの本など、ほかにもかぎきれないほどの本があります。調べたい本があれば、入口を入ってまっすぐに進むと、調べさかいかがあります。もう一つうれしいことがあります。それは、スタンプを二れつあつめると、しおりがもらえます。たくさんあつめたいです。これからも、本をたくさん読みたいです。

こちら資料館

夢二のエハガキ

外収蔵庫の棚の隅から古い茶色の小箱が出てきました。中に大正から昭和初期のものと思われる絵葉書が多数見つかりました。そのうちの一つの封筒の表に「新少女エハガキ、夢二作、婦人之友社版」と印刷されています。「夢二」とは「宵待草」を作詞した竹久夢二のことと思われる。彼は、大正、昭和を通じて夢二式美人として人々の人気を集め、大正浪漫を代表する画家ともいわれています。最初は児童雑誌な

どに挿絵を描いています。その後、詩や歌謡なども創作するようにしました。彼の年譜によると、明治四十四年(二十七歳)に月刊「夢二エハガキ」を発行しており、大正四年(三十一歳)には婦人之友社より雑誌「新少女」を創刊しています。ここでは絵画主任として挿絵を担当して、いま

です。この絵は、どこか物憂げな顔の夢二式美人」とは異なりですが、少女向けに描いた浮世絵風の美人画といえるのではないのでしょうか。



色彩豊かな見事な絵はがきです

わたしは、本が大好きです。絵本も好きですが、このころは、小説も多く読んでいます。わたしが好きなのは、犬がでてくる小説です。わたしは読んで犬の小説は、「ハチ公物語」「犬たちの物語」「きなき」など、お「犬とわたしの十のやく

わたしは、本が大好きです。絵本も好きですが、このころは、小説も多く読んでいます。わたしが好きなのは、犬がでてくる小説です。わたしは読んで犬の小説は、「ハチ公物語」「犬たちの物語」「きなき」など、お「犬とわたしの十のやく

わたしは、本が大好きです。絵本も好きですが、このころは、小説も多く読んでいます。わたしが好きなのは、犬がでてくる小説です。わたしは読んで犬の小説は、「ハチ公物語」「犬たちの物語」「きなき」など、お「犬とわたしの十のやく

公民館スポーツの醍醐味

厳寒の中で冬レク開催

ロシアのソチで冬季オリンピックが華やかに開催されている二月十一日の建国記念日に、村の体育館では公民館の冬レクレション大会が行われました。競技種目はソフトバレーボールです。混合の部に四チーム、女性の部に五チームが参加し、厳寒の中でレベルの高い熱戦を繰り広げました。試合では、和やかなチーム同士の交流と各チームの勝利への執念が交錯し、見ている、公民館スポーツの醍醐味を満喫することができました。「楽しみながら技を究める」という、公民館スポーツの真髄を見た感じがして、実にさわやかな気分になりました。寒くて忙しいこの時期に、熱戦を展開してくれた方々が、この大会により、気分をリフレッシュし、新たな生きる活力を得てくれたことを祈念するものです。

(公民館 唐澤克己)

大会結果

(混合の部)

- 1位 BWH2
- 2位 BWH1

(女性の部)

- 1位 河野フレンドA
- 2位 HESSYセブン
- 3位 河野フレンドB
- 4位 ミルキーA
- 5位 ミルキーB



熱戦に寒さも吹き飛んで

~シリーズ~ 豊丘の自然

No.124

ミソゴイ (サギ科)



写真提供：橋都 正氏

今月は最近、新聞などで時々取り上げられている大鹿村のミソゴイについて書く。二〇二七年開通予定のリニア中央新幹線工事から始

まるからだ。写真は借りた橋都さんには「珍鳥、ミソゴイ(絶滅危惧種) 生息数は世界中で一〇〇〇羽程度といわれる」と書き、新聞には「絶滅危惧II類で世界で生息数が六〇〇〜一七〇〇羽しかない」とある。

確かに、私も今までに飯田下伊那で三方所(飯田・高森・豊丘)でしか見ていない。まさに、珍鳥。しかし、一〇〇〇羽程度とか六〇〇〜一七〇〇羽と言いつつ科学的根拠はどこにあるのかは不明。それにしても、リニアとミソゴイ、今後どうなっていくのだろうか。(山田 拓)

堂々たる外観 まちづくり交流センター



濡洒で堂々たる外観が見事です - 公民館棟

建設が一步先行する図書館棟に加え、公民館棟も徐々に外観が整ってきました。現代風に洗練された濡洒で堂々としたデザインは、新しい時代を築いていくのにもふさわしい充実した活動を予感させるに十分です。今年度未だの建物完成をめざし、工事もまさに急ピッチで進められております。

お知らせ

古雑と大正絵はがき展

歴史民俗資料館

- 一、期日
 - 二月二十五日より
 - 三月二十五日までの
- 二、時間
 - 火・金・土曜日
 - 午前九時より午後四時
- 三、展示品
 - 1 江戸時代の雛人形
 - 2 大正・昭和の絵はがき
 - ①竹久夢二作
 - ②神稲学校開校記念
 - ③松尾多勢子
 - 刀自貳拾年記念
 - ④小野寺秋風画
 - 「海軍生活」

俳句 短歌

- 気配りに応え輝ぶ冬金魚
天竜の水尖らせて初時雨
ひさびさに家子の揃ひし大晦日
年初め封切る鉄 心満つ
絶筆となりし賀状や師の教へ
猫嫌い通し合えたる初日の出
傘の花引きもきらずの初詣
農日記買つて一年夢のこと
箕輪町天馬降り立つ小正月
言霊を捧ぐ神主息白し
大寒の歯ごぼれ駒岳の風強し
煩惱の心鐘叩き年新た
エーゲ見つつ初旅に聴くモーツァルト
田作りの謂れ話しつ 箸すすむ
聖像の深き蒼さや寒満月
初日いま介護の母にまくれない
春浅き天竜川の風逆ひて
鏡餅丸ごとを焼き明日へ耐ゆ
まとひ来し闇左義長の火に解ける
- | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| 中山 寿子 | 磯部セツ子 | 田中 静 | 竹村 茜 | 片桐 洋子 | 三島 保子 | 三島 里子 | 木下 眞水 | 和地 睦夫 | 林 恵美子 | 宮下 公 | 宮下 純子 | 丸山 時子 | 北原 昭子 |
|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|

(公民館短歌会)

暖ありてもそこはかとなく寒い日は亡母の手編みの肩掛け羽織る
大原眞由美
寒空に行方知れずの女子のつれしき報らせ心やすらぐ
松尾ヒサコ

たおやかに心耕す歌の道共に学べる友のありたり
松下 泰見

足弱の妻も八十路に入りたるわれは専従の運転手なり
富永 博道

(八日念)
赤石の雪の山々ピンクなり春の夕暮しとみており
織田大原

柿の木に身をゆだねつつ三脚を一段のぼりつ枝切り落とす
河原 梨花

真夜中に家に戻れば「トットトツ」迎えに出て来る犬の足音
吉沢 新子

今年こそ美味い蕪栗を漬けたいと思ひこらして一〇キロ漬ける
松島 八重

思いがけず寒中見舞いをくれし姪伯母さまへと書き添えありて
紅 梅

(豊丘川柳クラブ豊柳会)

- ▼課題「社」 長谷部良庵選
 - 社員より派遣に頼る製造業 久保ひろし
 - 社協さん一人の老婆忘れず 宇井恵美子
 - 田舎にも会社が出来て車増え 喜寿 喜多
 - 英霊の眠る社が火種とは 林 桃子
- ▼課題「財」 長谷部良庵選
 - 御年玉財布のひもをしめ忘れ 西元 峯子
 - 年金が入ると財布威張り出す 安田 喜子
 - 原発の利権むさぼる政財界 桃沢 健介
 - 軸吟：財産の先祖の棚田守り切る
 - ▼自由吟 桃沢健介選
 - 都知事選入の事でも気に掛かる 吉川 燎
 - 午年で首相は跳ねる庶民泣く 福沢 勝美
 - 良いことがあると信じて酒を酌む 原 美風
 - 軸吟：首都決戦原発ゼロが試される